

# 大田市環境基本計画に係る事業等実施状況報告書

(平成 26 年度実績)

## 1、計画の概要

現在の大田市環境基本計画は、平成 26 年 3 月「大田市総合計画」を環境保全面から具現化するものとして策定し、計画期間は、平成 26 年度～平成 35 年度です。

## 2、基本目標

現計画は、めざす環境像として「歴史輝き 人と自然が共生するまち おおだ」を掲げ、次の基本目標に沿って各施策を進めています。

### 基 本 目 標

- |    |          |                     |
|----|----------|---------------------|
| 1) | 快適環境     | 「歴史と文化のかおるまち」       |
| 2) | 自然環境     | 「人と自然が共生するまち」       |
| 3) | 生活環境     | 「健康に暮らせるやすらぎのまち」    |
| 4) | 循環型社会の構築 | 「みんなで築く循環型のまち」      |
| 5) | 地球環境の保全  | 「地球にやさしいまち」         |
| 6) | 環境保全活動   | 「環境意識を育て、ともに行動するまち」 |

## 3、取り組み状況

水や大気などの生活環境の保全やごみ処理などの地域固有の課題から、地球温暖化をはじめとした地球規模の課題まで、一人ひとりが環境に配慮した視点を持つと同時に地域社会が一体となった取り組みが重要となっています。

当市においては、三瓶山が国立公園指定 50 周年を迎え、石見銀山遺跡が「自然との共生」をキーワードに世界遺産に登録される中、希少動植物保護条例の制定やごみ減量化の推進などの成果がみられ、今後は、再生可能エネルギーの推進などの地球温暖化対策や市民レベルでの取り組みの推進を更に進めていかなければなりません。

以下、基本テーマごとの取り組み状況について報告します。

### 1) 快適環境「歴史と文化のかおるまち」

地域景観の保全、市街地景観の保全形成など、大田市景観計画に沿って景観の配慮に努めています。石見銀山遺跡については、遺跡の保存整備とともに、周辺の豊かな自然環境との一体的な保全活用を進めています。

目標数値を設定した町並み保存事業による整備率の平成26年度実績は、次のとおりです。

◆数値目標設定項目

項目	現状値 (H24年度)	中間目標値 (H30年度)	目標値 (H35年度)	備考 (H26実績)
整備率(%) 大森銀山地区	54.2	59.2	62.9	55.9
温泉津地区	25.8	34.9	42.8	28.8

※整備率＝整備済み特定物件数／地区内特定物件数

2) 自然環境「人と自然が共生するまち」

三瓶山には多様な動植物が生息しており、大田市自然環境保全条例により、環境保全団体と連携し、良好な自然環境の保全に努めています。

また、自然の恵みを活かした観光や、環境に配慮した農林業を推進しています。

目標数値を設定した大田市指定の希少動植物の種数の平成26年度実績は、次のとおりです。

◆数値目標設定項目

項目	現状値 (H25年度)	中間目標値 (H30年度)	目標値 (H35年度)	備考 (H26実績)
指定種数	3	6	8	3

3) 生活環境「健康に暮らせるやすらぎのまち」

大田市下水道基本構想に基づき排水対策を進めており、開発行為や畜産関連施設からの排水については、関係団体と連携し監視活動を行っています。

大気汚染・騒音・振動・悪臭防止対策は、法令に基づき対応しています。

数値目標を設定した汚水処理人口普及率の平成26年度実績は、次のとおりです。

◆数値目標設定項目

項目	現状値 (H24年度)	中間目標値 (H30年度)	目標値 (H35年度)	備考 (H26実績)
汚水処理人口 普及率(%)	33.3	50.0	62.2	37.2

4) 循環型社会の構築「みんなで築く循環型のまち」

一般廃棄物処理基本計画の重点施策である生ごみ・紙ごみの減量化に取り組んでいます。生ごみは堆肥化装置などへの補助、紙ごみは廃棄物減量等推進員との意見交換で資源化を呼びかけるなど、広報等で啓発しています。

また、適正処理に向け、次期可燃ごみ処理システムの準備を進めています。

数値目標を設定したごみ排出量（一般廃棄物）の平成26年度実績は、次のとおりです。

◆数値目標設定項目

項目	現状値 (H24年度)	中間目標値 (H30年度)	目標値 (H35年度)	備考 (H26実績)
ごみ排出量 (t/年)	10,671	9,621	8,970	10,285

5) 地球環境の保全「地球にやさしいまち」

大田市地球温暖化対策地域協議会において、講演会の開催やケーブルテレビを活用した啓発を行っています。

また、大田市地域新エネルギービジョンに基づき、太陽光発電、木質バイオマスを活用した薪ストーブ・ペレットストーブ等の導入を進めています。

数値目標を設定した温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量の平成26年度実績（未確定値）は、次のとおりです。

◆数値目標設定項目

項目	現状値 (H22年度)	中間目標値 (H30年度)	目標値 (H35年度)	備考 (H26実績)
CO <sub>2</sub> 排出量 (t/年)	258,804	238,099	225,159	241,577

※平成28年度に大田市地球温暖化対策実行計画の策定（改定）を行い、数値目標については再検討します。

6) 環境保全活動「環境意識を育て、ともに行動するまち」

小学校におけるごみ処理施設の見学や社会科副読本など、環境学習の充実に努めています。

また、環境美化行動の日などの環境保全活動を広く市民に呼びかけるとともに、住民団体が主体的に行う環境保全活動を支援しています。

数値目標を設定した環境団体数の平成26年度実績は、次のとおりです。

◆数値目標設定項目

項目	現状値 (H24年度)	中間目標値 (H30年度)	目標値 (H35年度)	備考 (H26実績)
環境団体数	25	40	50	26

※現状値は、大田市地球温暖化対策地域協議会団体会員と大田市環境保全活動支援事業実施団体を合算したものです。今後は、環境団体登録制度を設け、その登録数とする。

## 基本目標に係る事業等の評価

評価区分: A実施済、B一部実施済み、C実施に向け準備中、D未実施

基本目標	計画事業等の数	事業等の評価区分内訳			
		A	B	C	D
1) 快適環境	14	11	1	1	1
2) 自然環境	26	18	8	0	0
3) 生活環境	10	8	2	0	0
4) 循環型社会の構築	13	8	2	3	0
5) 地球環境の保全	14	10	4	0	0
6) 環境保全活動	14	11	3	0	0
計	91	66	20	4	1

※評価区分が、「D」となった事業については、公共施設周辺へ、市民と協働による植樹を計画したものであるが、適地となる施設の選定が出来なかったため、未実施となっている。